

各月毎の植栽苗数に対する被覆に必要な月数目安

【1】ポット苗（9cmポット）

規格	ポット苗	苗数/1㎡	植栽月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～2月	3月	
平地 K7・K5	直植/シート併用	4ポット	被覆に必要な 月数	3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月、翌春	翌春	翌春	4か月	推奨
		3ポット		3～4か月	3か月	3か月	3か月	3か月	翌春	翌春	翌夏	4か月	
		2ポット		4～5か月	4～5か月	4～5か月	4～5か月	翌春	翌春	翌夏	翌夏	5か月	
平地 K3	直植/シート併用	6ポット	被覆に必要な 月数	3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月、翌春	翌春	翌春	4か月	推奨
		4ポット		3～4か月	3か月	3か月	3か月	3か月	翌春	翌春	翌夏	4か月	
		3ポット		4～5か月	4～5か月	4～5か月	4～5か月	翌春	翌春	翌夏	翌夏	5か月	

規格	ポット苗	苗数/1㎡	植栽月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～2月	3月	
法面 K7・K5	直植/シート併用	6ポット	被覆に必要な 月数	3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月、翌春	翌春	翌春	4か月	推奨
		4ポット		3～4か月	3か月	3か月	3か月	3か月	翌春	翌春	翌夏	4か月	
		3ポット		4～5か月	4～5か月	4～5か月	4～5か月	翌春	翌春	翌夏	翌夏	5か月	
法面 K3	直植/シート併用	6ポット	被覆に必要な 月数	4か月	3～4か月	3～4か月	3～4か月	3～4か月	翌春	翌春	翌春	4～5か月	推奨
		4ポット		5か月	4か月	3～4か月	3～4か月	3～4か月	翌春	翌春	翌夏	5か月	
		3ポット		5～6か月	4～5か月	4～5か月	4～5か月	翌春	翌春	翌夏	翌夏	5～6か月	

【2】ミニ苗（4.5cm連結ポット）：K7/K5のみ生産

※ミニ苗は公共・民間工事向けです。個人のお客様への販売は行っていません。

規格	ミニ苗	苗数/1㎡	植栽月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～2月	3月	
平地 K7・K5	直植/シート併用	9苗	被覆に必要な 月数	3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	2～3か月	翌夏	翌夏	4か月	推奨
		6苗		3～4か月	3か月	3か月	3か月	3か月	翌春	翌夏	翌夏	4か月	
		4苗		4～5か月	3～4か月	3～4か月	3～4か月	翌春	翌夏	翌夏	翌夏	5か月	

規格	ミニ苗	苗数/1㎡	植栽月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～2月	3月	
法面 K7・K5	直植/シート併用	9苗	被覆に必要な 月数	4～5か月	4か月	4か月	4か月	翌春	翌春	翌夏	翌夏	5か月	推奨
		6苗		5～6か月	5か月	5か月	翌春	翌春	翌夏	翌夏	翌夏	6か月	
		4苗		6～7か月	6か月	翌春	翌春	翌春	翌夏	翌夏	翌夏	7か月	

《注記》

①被覆目安の測定環境について

【測定環境】 栃木県小山市の気温の下で各月初に植え付け、日照100%の場合での被覆目安です。
土壌は適度に保水性があり水はけが良く、肥料も十分な場所です。
小山市より気温が低い地域、日陰、曇天が続く場所、肥料分が少ない等、土壌条件が適していない場合は被覆までにより長い期間を要しますので、苗数を増やすなどの対策をお勧めいたします。
※苗数/㎡は目安です。植える場所や環境条件を考え適した個数を選択してください。
※11月～2月に植栽する場合は、目砂や保温シートなどを併用して防寒、防乾燥対策を行って植えてください。

②1㎡に対する植栽苗数のメーカー推奨について

推奨植栽苗数(㎡)は、早期に被覆させること、及び植える手間等を総合的に考慮して推奨しております。
「ポット苗（9cmポット）」の推奨植栽苗数が「平地で4苗/㎡」植えるのに対して、「法面で6苗/㎡」を推奨している理由は、平地に比べて法面は法面上部の水が不足しがちであったり、法面の向きによっては日照が悪く生育が遅い可能性があるため、平地と同等に短時間で被覆をさせるために多めの苗数を推奨しております。
「ミニ苗（4.5cm角連結ポット）」を平地と法面とで同じ苗数を推奨する理由は、植える手間を考慮してのことです。
㎡当たりにより多くの苗数を植えることは手間がかかりますし、防草シート併用の場合は、シートに植栽穴を多く開けることになるため雑草の発生リスクが高まります。
平地より法面の方が生育条件が劣るため、植栽苗数が同じ場合は法面の方が生育に要する期間は長くなりますが、植え手間や雑草侵入リスクへの考慮を優先して、平地と同じ苗数を推奨しております。

③「シート併用」について

クラピア専用防草シートを用いた「専用防草シート工法」での植栽を意味しています。
直植、シート併用での被覆に必要な月数に大きく差はありませんが、シートを併用頂く事でより高い雑草低減効果を発揮します。
〈効果1〉シート併用は、通年、長期間にわたって雑草の侵入を防いでくれます。
〈効果2〉休眠期までに全面被覆できない時期に植える場合でも、クラピア休眠中に雑草の侵入を防いでくれます。

④苗の規格（ポット苗、ミニ苗）使い分けについて ※公共・民間工事対象

ポット苗は、冬季植栽の場合に保温や乾燥防止の対策が必要となるものの、苗の直径が9cmあるため季節を問わず植えることが可能です。
一方、ミニ苗は4.5cm角と、ポット苗の1/3程度の大きさの為、冬季や真夏の植栽には枯死リスクを伴います。
公共・民間工事の場合、工期の前倒しや遅延など、当初予定の植栽時期が変更となり、真冬や真夏の植栽になることもございますので、緑化工事、防草工事の設計仕様にクラピアをご採用いただく際には、その可能性をご考慮の上で苗の規格をご検討下さい。
※クラピアを採用いただく殆どの公共工事については「9cmポット苗」が採用されております。